





千葉マリアン Marian Bernardo Chiba





朗読音声のダウンロード Audio download

★読む前に Before you read

^{たどく} 《<mark>多読の読み方</mark>》

多読とは、とてもやさしい本から楽しくたくさん読んで日本 語を身につけていく方法です。

ァッミ 次の4つのルールを导って楽しく読みましょう。

- 1. やさしいレベルから読む
- 2. 辞書を引かないで読む
- 3. わからないところは、とばして読む
- 4. 進まなくなったら、他の本を読む

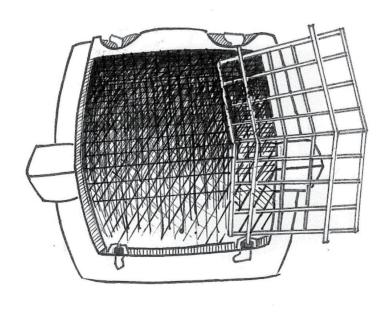


(How to do Tadoku)

Tadoku recommends that everyone should start with very easy books and enjoy a lot of them following the 'Four Golden Rules' below.

- 1. Start from scratch.
- 2. Don't use a dictionary.
- 3. Skip over difficult words, phrases and passages.
- 4. When the going gets tough, quit the book and pick up another.

ある日、炎が不思議なケージをうちに運んで来ました。



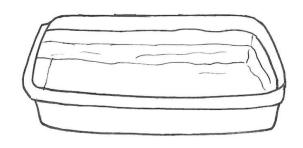
そのケージの中から怒っている鳴き声がしました。

ケージの中にはカワウソの赤ちゃんがいました。知らない場所に連れて来られて怖がっていました。

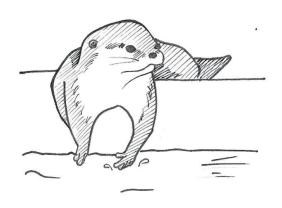


わたしはその子にネシという名前をつけてあげました。

カワウソというと水の中にいるイメージがありますが、 ***
赤ちゃんだった頃のネシは水を怖がっていたのです。



けれど、あるとき、どうしても気になるようで、小さな 手で水に触れていました。

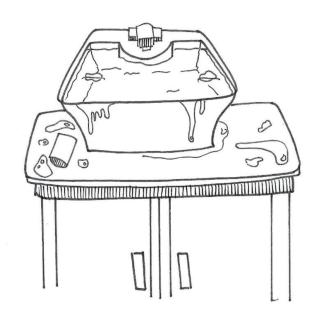




それから、ネシはすぐに水に慣れて泳ぐのが好きになりました。ネシをネシ用のプールから出すのが大変でした。

ある日の夜のことです。 洗面所から水が流れているよう な音がしました。

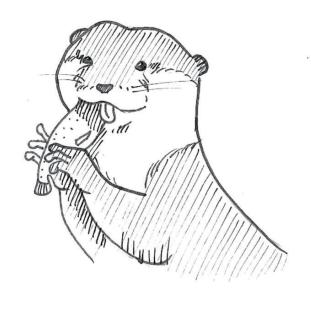
洗面所の様子を覚に行くと、なんと! トイレットペーパーだらけのシンクの中でネシが泳いでいたのです。しかも、水が流れっぱなしで洗面所はびしょびしょでした。

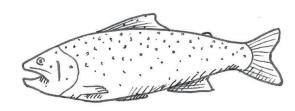


でも、ネシは少しも反省している様子がありませんでした。



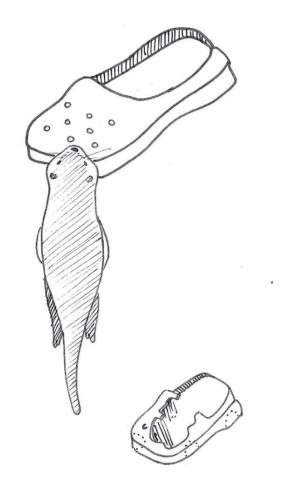
ネシの大好物は魚です。魚と言ってもどんな魚でもいいわけではありません。サーモントラウトしか食べません。



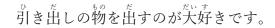


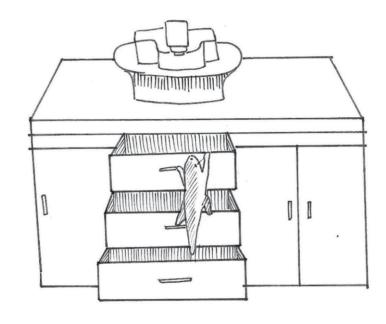
サーモントラウト

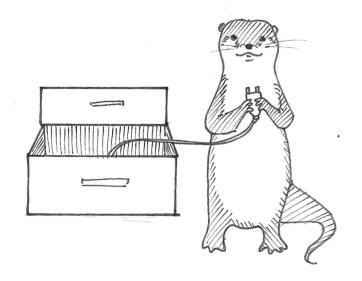
ネシの歯は魚の骨も食べられるような強い歯です。なので、靴など噛んで遊ぶと、その靴はぼろぼろになります。



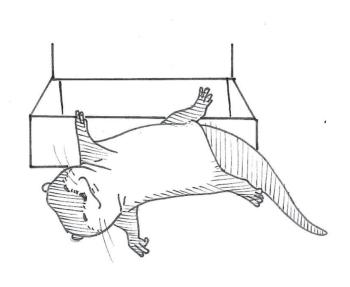
ジャンプ力はないので、どこかに上りたい情は引き出しを開けて階段として使います。



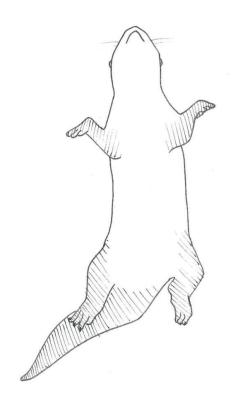




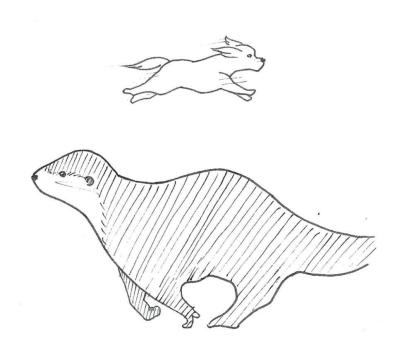
でも、引き茁しの物を茁すと怒られると知っているので、 見つかった途端に死んだふりをします。



寝る時は仰向けで寝ることが多いです。起こそうとして も起きないくらい深い能りです。



犬と一緒に育ったので自分も犬だと思って犬たちと遊びます。ですが、足が短いため、いつも追い越されてしまいます。



我が家にたまにやって来る捨てられた予猫たちを自分 の子供だと思うことも参いです。

一度、一匹の子猫を水の中に投げ入れたこともあります。 (子猫は大丈夫でした)



こんなネシと、日本に来る時、別れることになりました。 "こんなにうるさい動物なんか恋しくなるものか"と思っていたのですが、実際は恋しいです。



(今回の主人公、ネシです)

[文・写真・絵] 千葉マリアン

「Nessy」

2021 年 3 月 18 日 発行 発行 仙台国際日本語学校





この作品はクリエイティブ・コモンズ表示-非営利-改変禁止4.0国際ライセンスの下に提供されています。

This book is licensed under CC BY-NC-ND 4.0

https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/